

足圧分布より見た着衣と姿勢との関係に就いて

和洋女子短大 我妻美奈子 姿勢保健均整専門 坂本元一 総愛
診療所 ○伊藤秀三郎

目的 着衣による姿勢の変化の有無を、足圧分布の点から考究して居るが、此度は若い女性の浴衣での長着と二部式との比較を試みた。

方法 足圧計測器を使用する。

足圧計測器は超小型荷重電気変換器を使用し、片足10部位(5趾他5箇所)即ち両足の10部位の踏面で、足圧を30秒間1秒間隔に2計測出来る仕組みである。さてこの30秒間の計測記録はマイクロコンピュータで行い、測定終了後各部位毎に紙上に記録される。

被験者は19才の女子学生6名で、着衣は善牧着及び木綿の浴衣(長着と二部式)である。

姿勢の分類 足圧を4区画(左前・右前・左後・右後)に就いて考える。

F₁ 足圧が前方に多くかかる場合

F₂ 足圧が後方に多くかかる場合

F₃ 足圧が左方に多くかかる場合

F₄ 足圧が右方に多くかかる場合

F₅ 足圧が左前方と右後方に多くかかる場合

F₆ 足圧が右前方と左後方に多くかかる場合

結果 (1) 浴衣での長着と二部式とでは、姿勢の変化はなかった。

(2) 浴衣での長着と二部式とでは、足圧変動に関し一定の傾向がなかった。

(伊藤記)

総愛診療所 03-677-6395